



<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>

第140号 (季刊)  
令和3年10月  
田中野田町内会



## 区の仕事 ー農業用水路・水門管理についてー

田中地区区長代理:中尾三千義

(取材:広報渉外部 高塚)

田中野田は50年程前、田んぼが広がり主に農家(稲作、い草や花卉栽培等)

55世帯程が暮らし、用水路は農業に欠かせないものでした。時代と共に宅地化が進み、岡山市区画整理事業を経て現在は830世帯、田んぼはわずかとなりました。近年、異常気象による豪雨が頻発し、雨水はアスファルトから側溝・用水路へと流れ込み、岡山市内に総延長約4千kmある用水路は内水氾濫の危険が高まっています。当地は笹ヶ瀬川に接しており、田中ポンプ場設置により水位調節が可能になりましたが、操作や管理は人が担う重要な任務です。現場を取材し、区長代理の中尾さんに寄稿頂きました。

### (1) 区の仕事、担当者

田中野田の野田は字(あぎ)からきており、田中と田中野田で町内会は別ですが、田中・田中野田地区の農業用水の管理をしています。区長は田中の長瀬節昭さん、田中野田で区長代理を中尾、水利常設委員を中尾昭義さん、平松里志さんが担当しています。

### (2) 水利慣行(稲作の農業用水管理)

毎年6月、市役所から「用水関番割」「土用干し」が通知され任務が始まります。

①用水関番割(今、芳田、大野地区):農業用水を適量に供給する為の予定表。

記載の日時に各樋門の担当者が締め切ることで用水の水位が上がり、田に自然に水が入ることで田植えができる仕組みです。農家にも関番割表を配布し知らせます。

②土用干し(中干し):掲示板には「土用干し」日時を掲示

暑い盛りの土用の頃、1週間程水位を下げて田んぼへの通水を止め、乾かすことで稲の成長を調節する大切な作業です。土用干し後は再び通水し、収穫時期まで水量管理が必要です。



### (3) 3つの水門と田中ポンプ場

町内には田中水門(田中ポンプ場併設)、辰巳水門、野田水門があります。農業用水と水門は農林水産振興課、ポンプ場は下水道河川局で市の担当部署は別々です。本来、地区の任務は農業用水の管理ですが、ポンプの稼働(雨水排水)は同じ水路管理として切り離せないことであり防災に努めるべく地区の4名で頑張っています。



田中水門



辰巳水門



野田水門

### (4) 今年の豪雨と田中ポンプ場の稼働状況

田中ポンプ場は平成22年5月に運転を開始。笹ヶ瀬川の水位が内水の水位を超えると逆流してくる

次ページへ